

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 鶴見区

学 校 名 鶴見小学校

学校長名 大東 正之

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 46名

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率においては大阪市より5ポイント、全国より3.3ポイント上回っている。算数の平均正答率においては大阪市より4ポイント、全国より2.6ポイント上回っている。

平均無回答率は、国語、算数ともに、大阪市、全国の平均より低く、粘り強く取り組めている。

## 分析から見えてきた成果・課題

## 教科に関する調査より

## 〔国語〕

学習指導要領の領域（言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項、話すこと・聞くこと、読むこと）において、大阪市、全国の平均を上回っている。特に「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「読むこと」については、全国の平均を4.4～12.4ポイント上回っており、基本的な知識・技能はある程度習得しており、主体的・対話的な学習の成果が出ていると捉えることができる。「書くこと」については、全国平均を2.1ポイント下回っているため、書く活動を多く取り入れて行く必要がある。

## 〔算数〕

学習指導要領の領域（数と計算、図形、変化と関係）について、全国平均を上回る結果であった。特に「変化と関係」の領域で全国平均を7ポイント上回った。平均無回答率が1.4と、全国平均より2ポイント低くなっている。問題別にみると、基本的な知識・技能は身につけているといえる。

## 質問調査より

朝食をきちんと食べている、決まった時刻に寝る、起きる等の生活リズムが整っている児童が多い。「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「人が困っているときは進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」の質問内容で、肯定的に回答する児童が多く、道徳心や規範意識の高さが伺える。しかし、「学校に行くのは楽しい」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」の質問に対しては、肯定的回答が全国平均よりもやや低めであり、学校の楽しさや一人一人の違いについて様々な角度で伝えていく必要がある。

「授業でどの程度PCを活用しましたか」「学校の学習以外で学習でPCを使ってどのぐらい学習していますか」の質問内容で、全国の平均値よりも低く、学習にはあまりPCを使っていない状況である。

以上のことから、ICT機器を活用した話し合いや意見の交流を取り入れて、学習が分かるだけでなく、問題を解決したり学習したりすることが楽しい、やってみたいと思えるような学習の過程を意識した授業を日々実践し、自尊感情を育てていくことが課題である。

## 今後の取組(アクションプラン)

今年度は研究教科を国語とし、「文章を読み解き、豊かに表現する力を育てる～言葉や文字に親しみ、正確に読み取るために～」を研究の主題とし授業研究に取り組んでいる。子どもたちが進んで参加したくなるような授業づくりの工夫と、効果的な話し合い活動の工夫を視点として、児童が興味を持ちながら進んで授業に参加し、友達の意見などを聞き、話し合いを通して学ぶ楽しさやわかる喜びを味わわせ、読書活動に力を入れ、学習意欲を高めていくことにつなげられるように取り組んでいく。学習を効果的に進めるためには基礎基本の定着が必要であるため、朝の時間を用いた、読書タイム、学短時間学習タイムを引き続き実践していく。学習の楽しさや自力解決できた喜びを味わうことから、子どもたちの自己有用感を高めていけるような活動に繋げていきたい。

ブロック化予算は、励まし用のシール購入、自主学習ノートの購入等を行い、自主学習の意欲向上に繋げていけるように進めている。今後も続けていきたい。

## 【 全体の概要 】

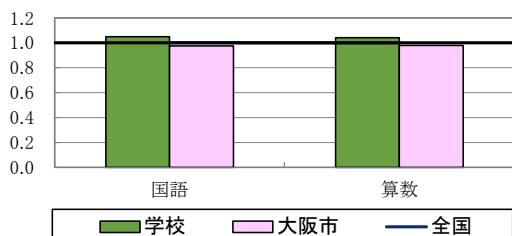
### 平均正答率（％）

	国語	算数
学校	71	66
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

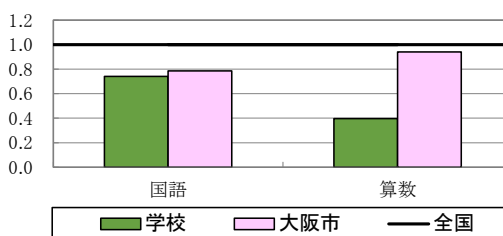
### 平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.1	1.4
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



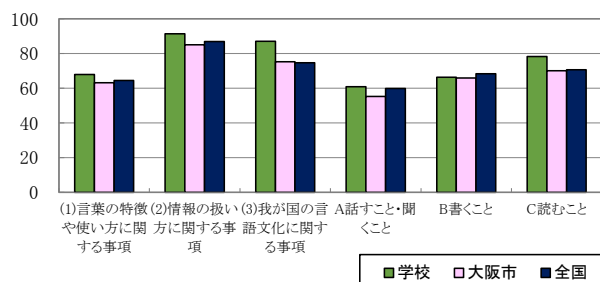
## 【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	67.9	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	91.3	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	87.0	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	60.9	55.3	59.8
B 書くこと	2	66.3	65.9	68.4
C 読むこと	3	78.3	70.1	70.7

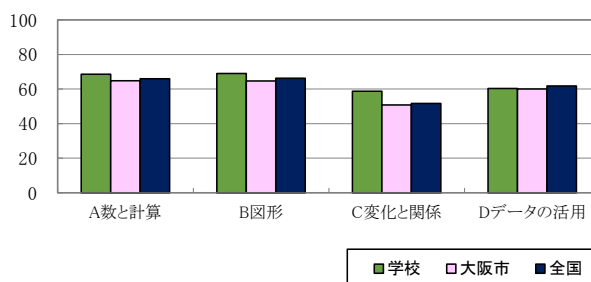
## 【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	68.5	64.8	66.0
B 図形	4	69.0	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	58.7	50.8	51.7
D データの活用	4	60.3	60.0	61.8

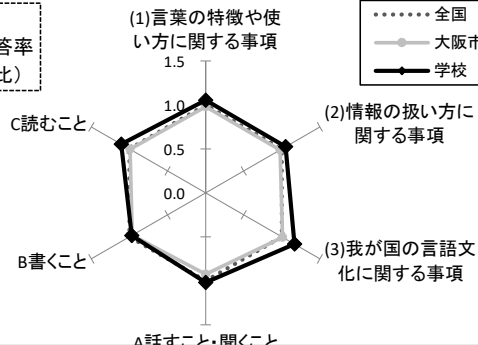
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



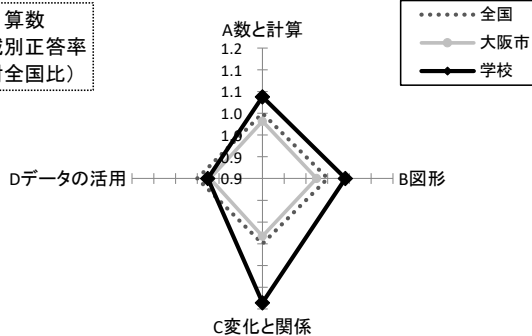
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)



算数  
領域別正答率  
(対全国比)



## 児童質問より

質問番号

質問事項

1

朝食を毎日食べていますか

1

2

3

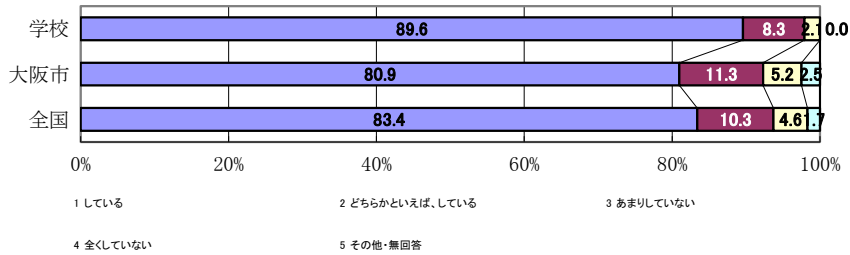
4

5

6

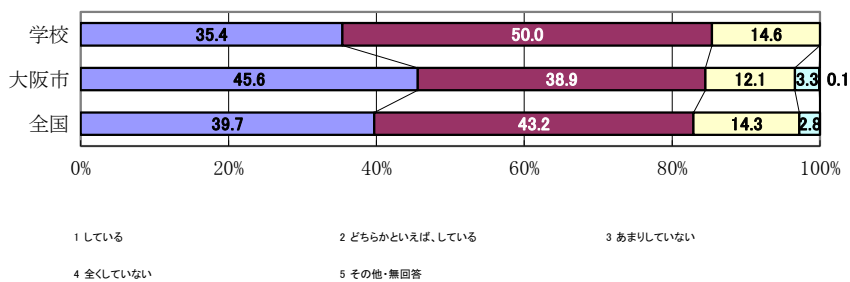
7

8



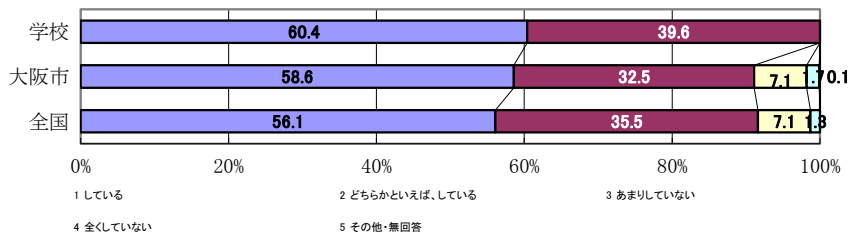
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



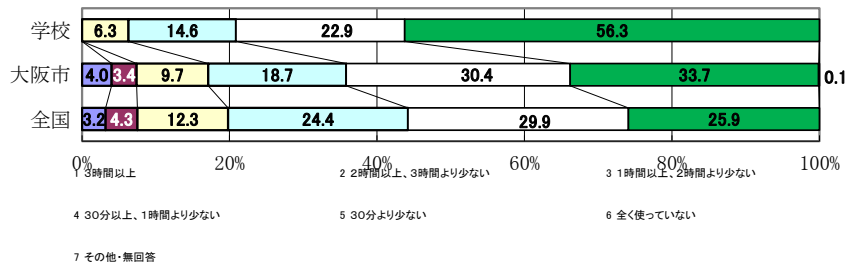
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



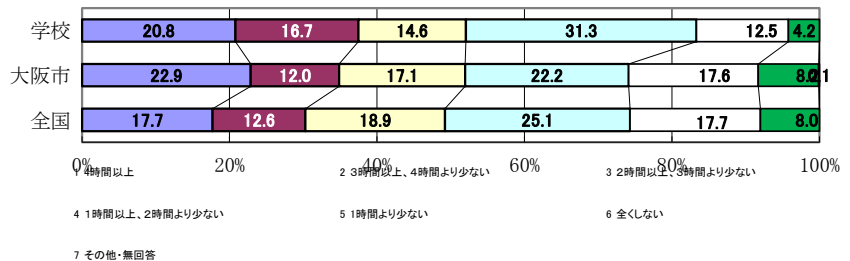
4

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



5

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



## 児童質問より

質問番号

質問事項

6

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)

1

2

3

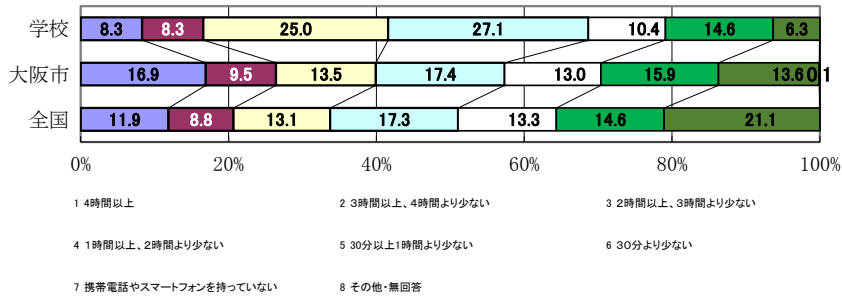
4

5

6

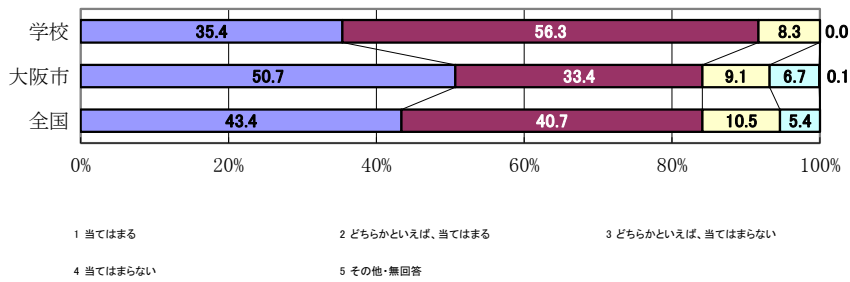
7

8



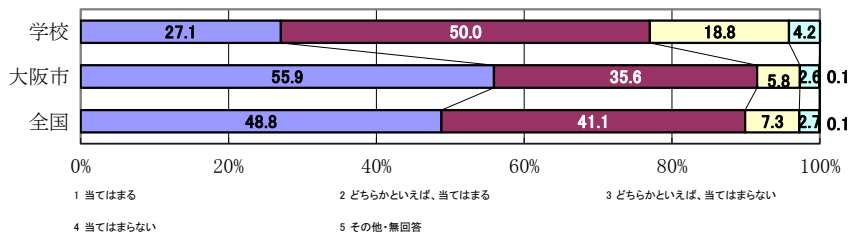
9

自分には、よいところがあると思いますか



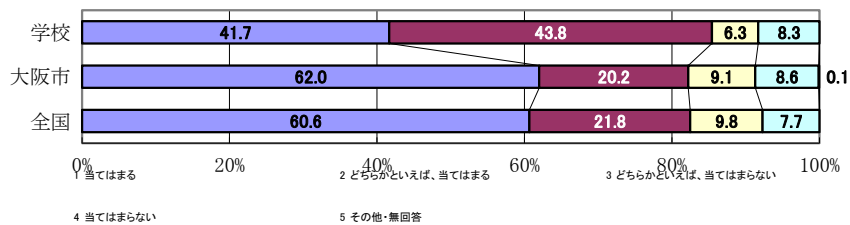
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



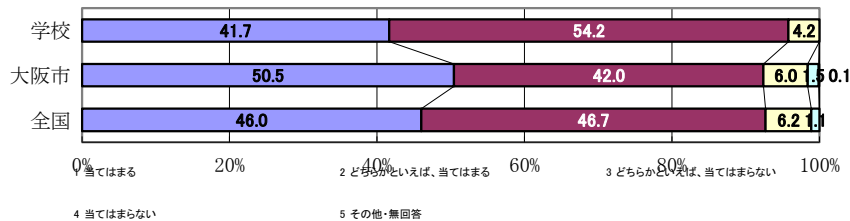
11

将来の夢や目標を持っていますか



12

人が困っているときは、進んで助けていますか



## 児童質問より

質問番号

質問事項

14

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

1

2

3

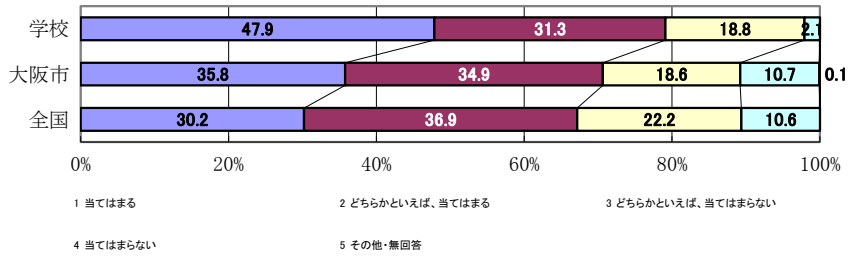
4

5

6

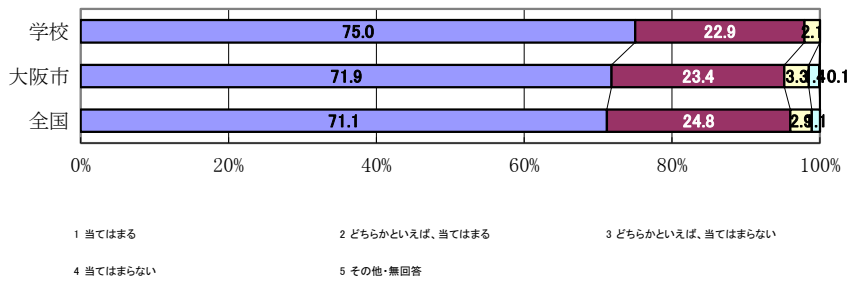
7

8



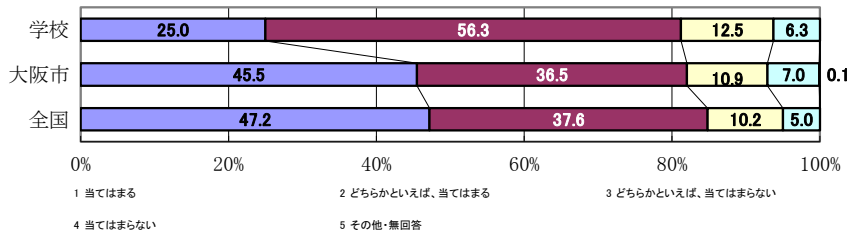
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



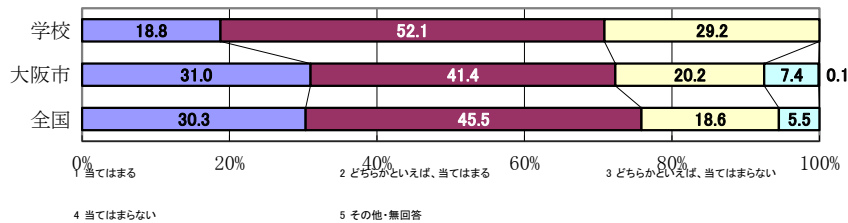
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



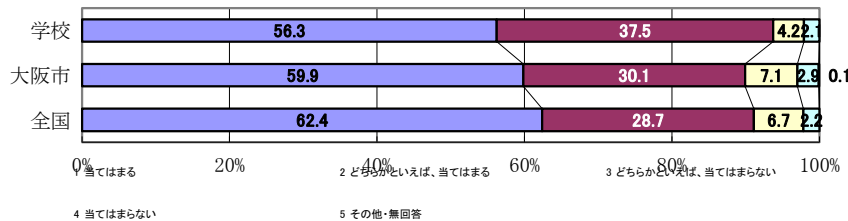
17

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



18

友達関係に満足していますか



## 児童質問より

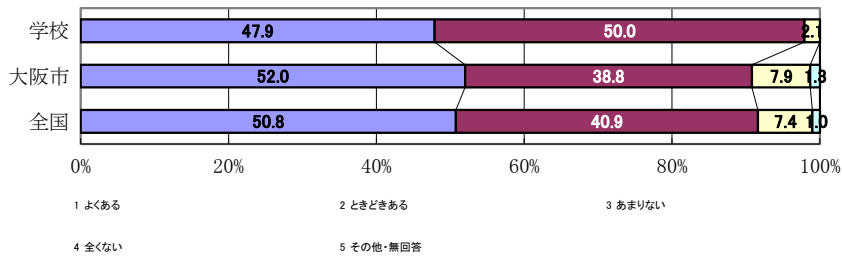
質問番号

質問事項

19

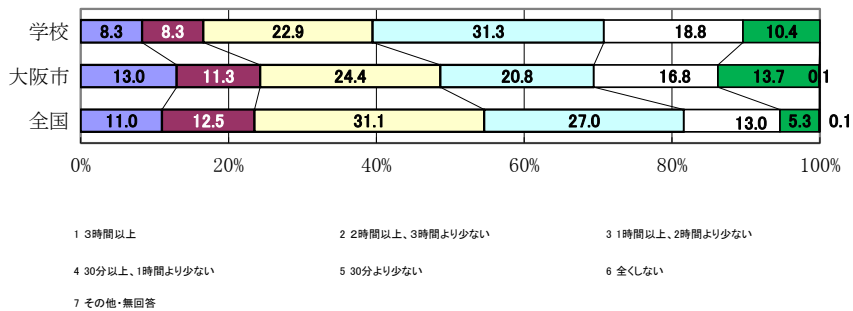
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

1 2 3 4 5 6 7 8



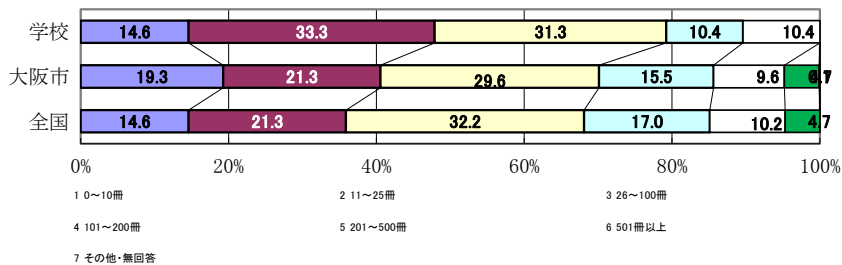
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



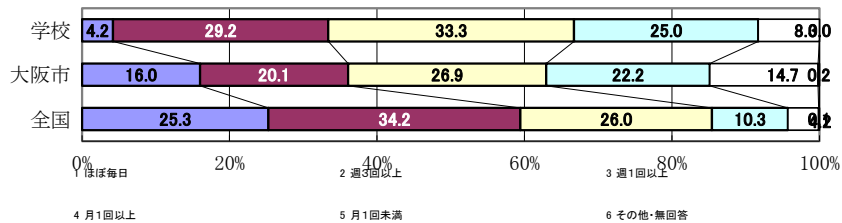
23

あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)



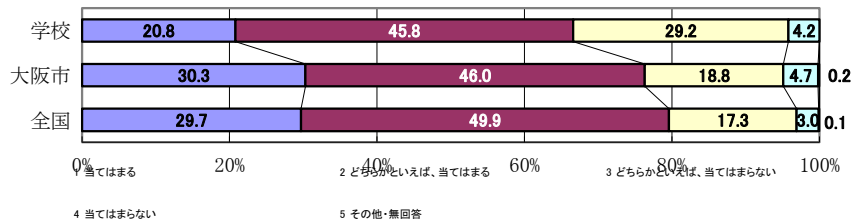
27

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



31

5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



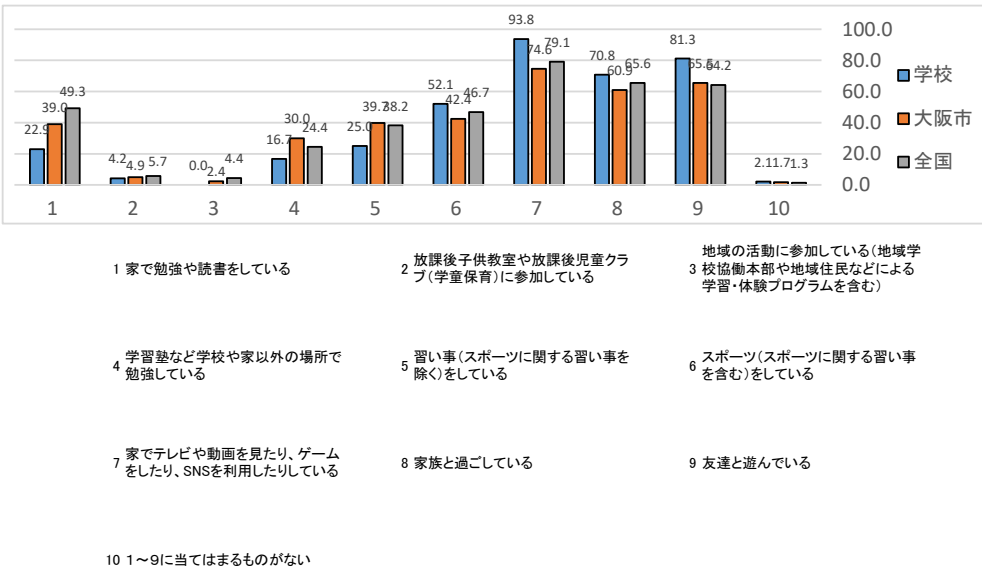
児童質問より(26)

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何をして  
過ごすことが多いですか  
(複数選択)





## 学校質問より

質問番号

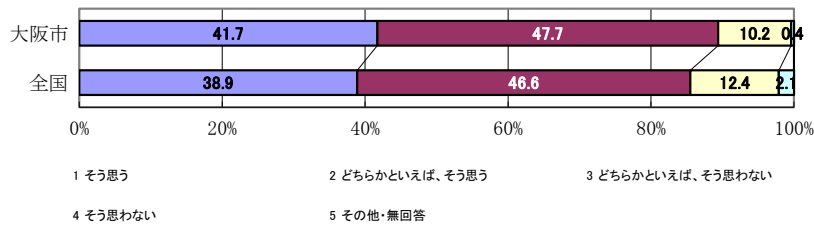
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

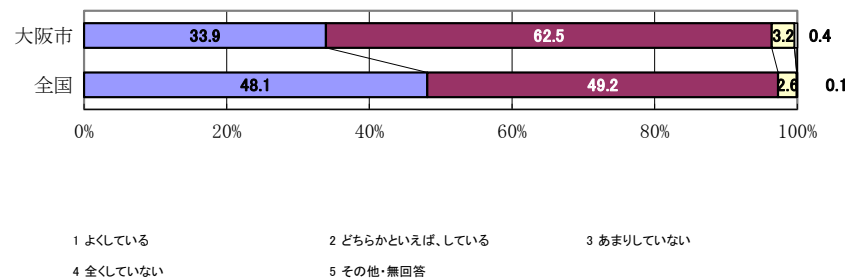
学校 「そう思う」を選択



14

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

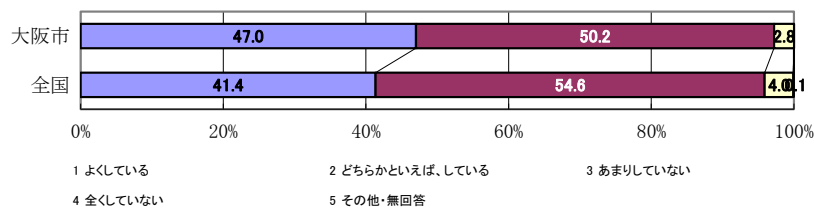
学校 「どちらかといえば、している」を選択



15

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

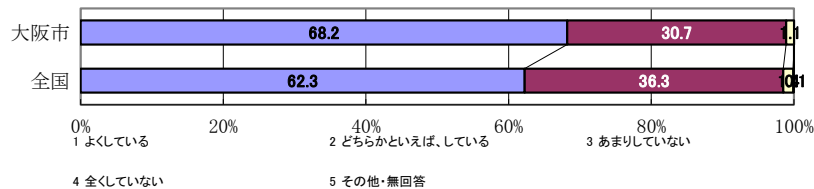
学校 「どちらかといえば、している」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



17

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択

